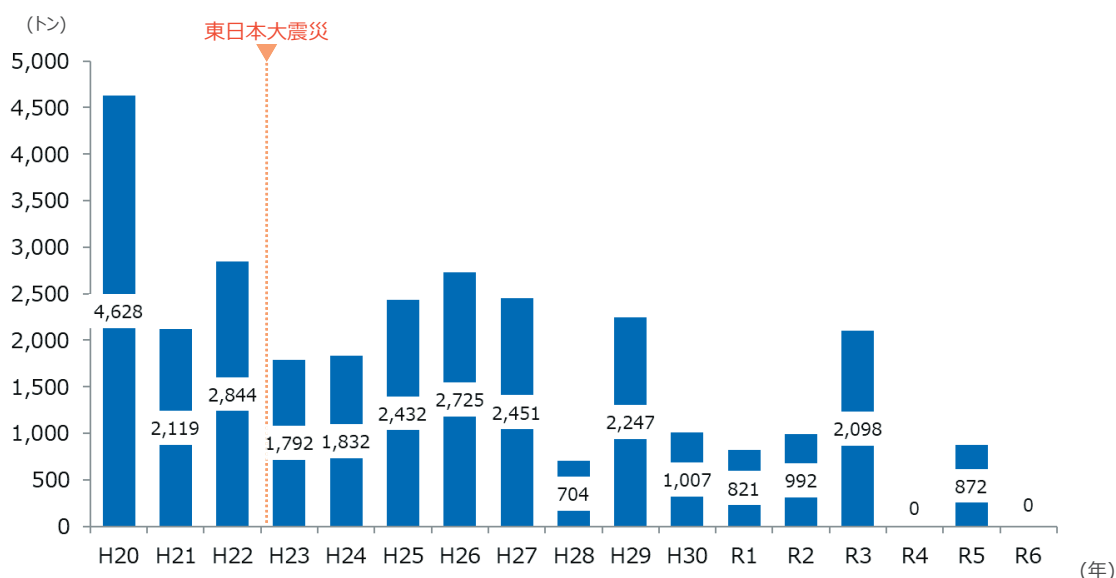


福島県におけるカツオ漁獲量の推移

福島県内の漁協に所属する船によるカツオの漁獲量は、平成28年に大きく減少した後、平成29年・令和3年に再び2,000トン以上と一時的に回復したが、他の年においては、概ね1,000トン前後を推移している。

福島県におけるカツオ漁獲量の推移



※ 数値は属人(福島県内の漁協に所属する船による)の漁獲量
 ※ H23は震災前の漁獲を含む

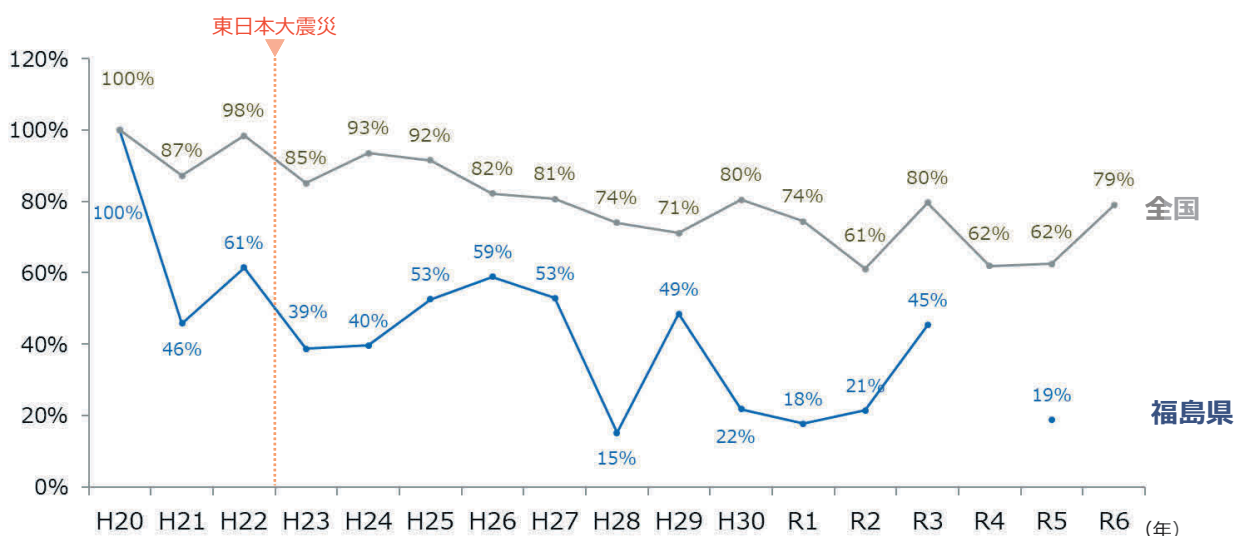
データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

※ R4・R6は個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していない。

全国・福島県におけるカツオ漁獲量の推移

全国のカツオの漁獲量は、大きく増加する年もあるものの概ね減少傾向にある。福島県内の漁協に所属する船による漁獲量は、毎年大きく変動し、令和3年は平成21年と同程度となったが、令和5年は平成20年の19%であった。

全国・福島県におけるカツオ漁獲量の推移（平成20年を100%とした値）



※ H23は震災前の漁獲を含む

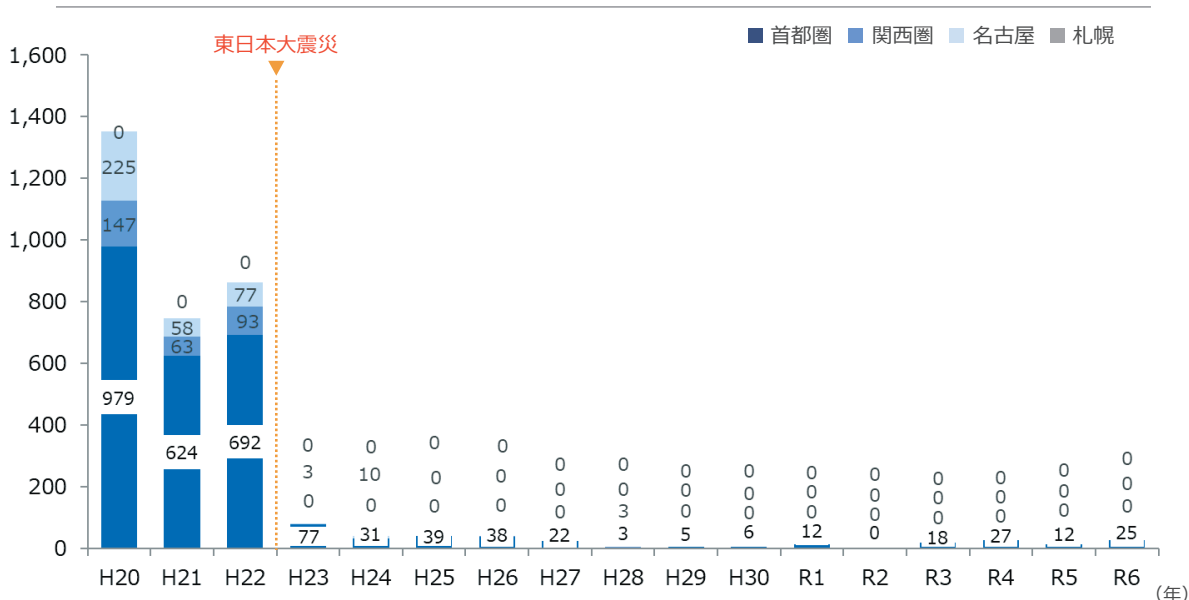
※ 福島県のR4・R6は個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していない。

データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

各市場における福島県産カツオの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産カツオは、震災前には札幌以外の首都圏、関西圏、名古屋で取り扱われていたが、震災後は出荷が大きく減少し、近年では取扱いがほとんどない。

各市場における福島県産カツオの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ

※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

各市場におけるカツオの産地リレー(令和6年産・首都圏)

福島県産カツオの取扱いは、東京都中央卸売市場において年間を通して僅かであった。横浜市中央卸売市場では、年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

市場	各月で市場シェア1位～3位の順に												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
東京都中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	0%	0%	0%	25
宮城	1%	0%	0%	0%	7%	47%	85%	89%	82%	74%	74%	4%	4,132
千葉	0%	2%	1%	10%	34%	28%	3%	1%	0%	0%	2%	8%	731
宮崎	2%	37%	25%	23%	12%	1%	0%	0%	0%	0%	2%	6%	491
鹿児島	16%	26%	25%	25%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	7%	14%	465
東京	7%	19%	14%	14%	6%	4%	4%	3%	3%	3%	4%	6%	453
総量	57	272	432	647	884	1,041	1,078	1,122	993	781	352	137	
横浜市中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
宮城	0%	0%	0%	0%	14%	33%	72%	82%	88%	89%	79%	0%	315
千葉	0%	8%	0%	19%	39%	45%	22%	14%	6%	2%	4%	29%	108
三重	13%	20%	12%	33%	28%	7%	1%	0%	0%	2%	0%	9%	44
鹿児島	43%	49%	63%	25%	5%	0%	1%	0%	1%	1%	6%	46%	38
和歌山	15%	12%	9%	15%	8%	7%	0%	0%	0%	2%	1%	0%	22
総量	3	12	19	40	64	80	83	84	76	60	37	5	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるカツオの産地リレー(令和6年産・関西圏)

福島県産カツオの取扱いは、大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
高知	53%	22%	50%	37%	48%	58%	51%	19%	3%	17%	7%	21%	639
宮城	0%	0%	0%	0%	0%	7%	34%	60%	73%	63%	71%	0%	603
和歌山	9%	11%	10%	26%	40%	28%	3%	1%	1%	5%	3%	4%	254
鹿児島	13%	33%	19%	19%	2%	0%	1%	2%	3%	7%	13%	31%	134
宮崎	7%	29%	21%	15%	2%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	6%	82
総量	19	60	124	172	234	246	263	244	215	194	102	38	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
三重	0%	0%	0%	37%	52%	51%	21%	1%	3%	12%	3%	0%	111
高知	19%	23%	70%	32%	28%	27%	23%	13%	3%	15%	4%	5%	100
宮城	0%	0%	0%	0%	0%	5%	31%	50%	41%	36%	26%	0%	91
静岡	37%	30%	9%	6%	4%	8%	19%	25%	21%	13%	21%	26%	65
和歌山	3%	12%	14%	13%	10%	5%	0%	0%	1%	8%	1%	0%	25
総量	5	6	20	41	69	76	67	52	51	43	18	8	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

601

各市場におけるカツオの産地リレー(令和6年産・その他)

福島県産カツオの取扱いは、名古屋市中央卸売市場、札幌市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
宮城	0%	0%	0%	0%	0%	13%	55%	75%	66%	52%	50%	0%	677
高知	25%	10%	39%	20%	27%	31%	27%	9%	4%	21%	19%	54%	438
和歌山	32%	15%	12%	30%	36%	31%	1%	1%	1%	8%	6%	9%	295
宮崎	11%	42%	34%	21%	7%	7%	6%	4%	1%	7%	3%	10%	192
三重	11%	2%	1%	20%	22%	15%	4%	1%	1%	5%	1%	3%	168
総量	13	62	124	167	238	321	282	240	221	207	85	25	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
宮城	0%	0%	0%	0%	11%	32%	29%	44%	54%	53%	54%	0%	33
東京	57%	59%	75%	73%	60%	25%	25%	9%	6%	13%	16%	52%	23
青森	0%	0%	0%	0%	10%	32%	35%	36%	23%	22%	17%	0%	21
北海道	0%	0%	3%	0%	1%	5%	5%	6%	13%	7%	4%	0%	6
福岡	30%	12%	4%	1%	4%	3%	4%	3%	2%	2%	6%	34%	4
総量	1	2	3	3	9	11	12	14	16	14	6	1	

データ出所：各卸売市場の統計データ

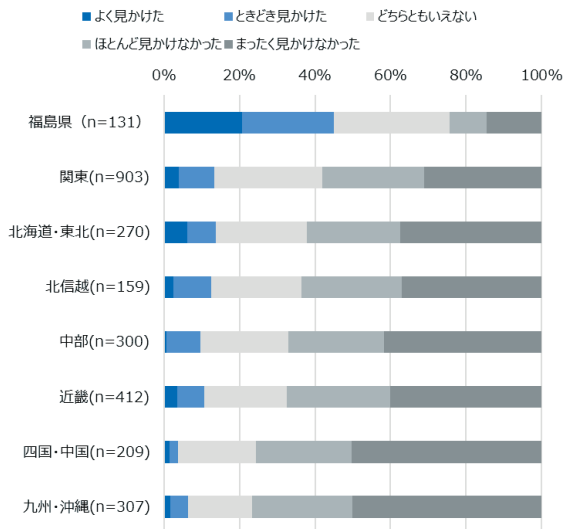
※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

602

福島県産カツオを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

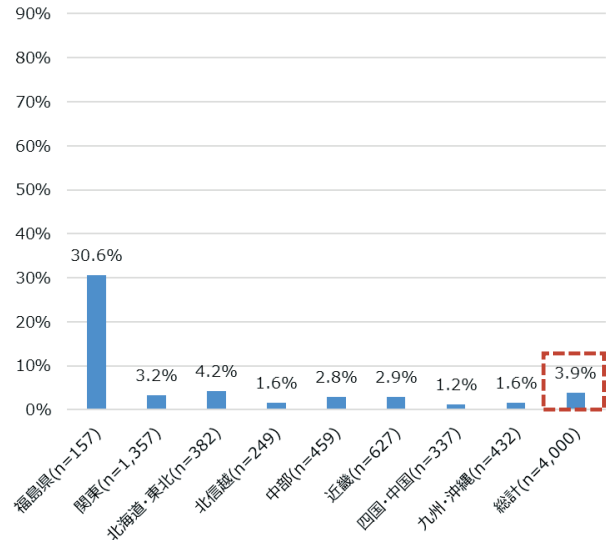
福島県産カツオを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産カツオを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では3.9%であった。

福島県産カツオを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産カツオを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産カツオの購入経験率

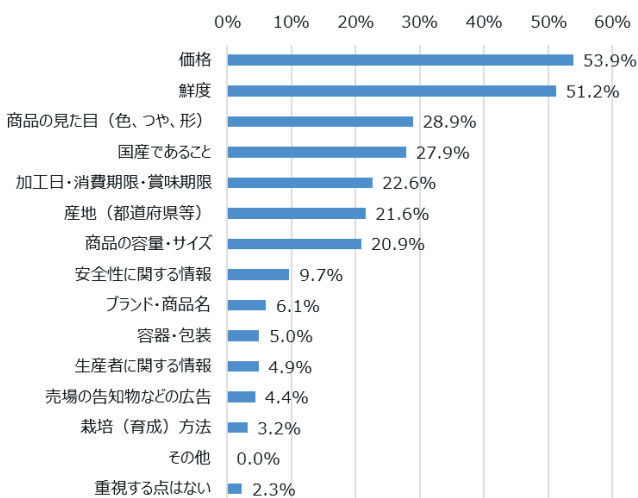


※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

カツオ購入時の重視点と福島県産カツオの購入者の評価（消費者アンケート）

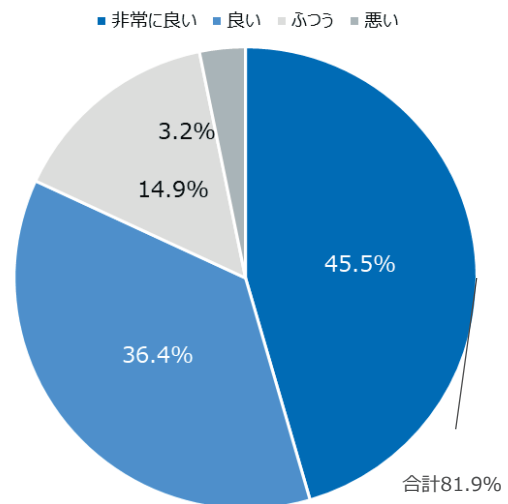
福島県産に限らずカツオ購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産カツオの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が81.9%であった。

カツオ購入時の重視点 (n=2,134、複数回答)



※カツオ購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上カツオを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産カツオの購入者の評価 (n=154)

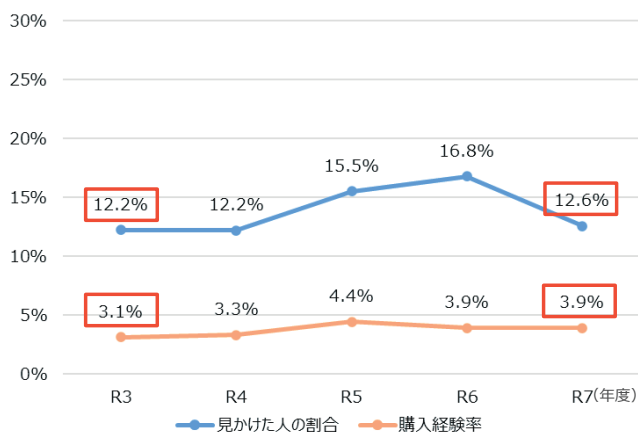


※福島県産カツオを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

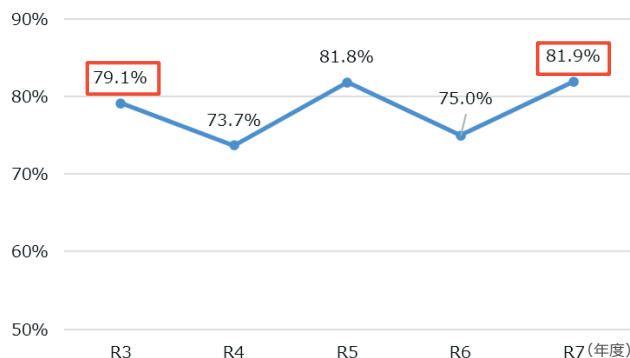
福島県産カツオを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産カツオを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ0.4%、0.8%上昇し、福島県産カツオの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は2.8%上昇した。

福島県産カツオを見かけた人の割合、購入経験率



福島県産カツオを高く評価している人の割合



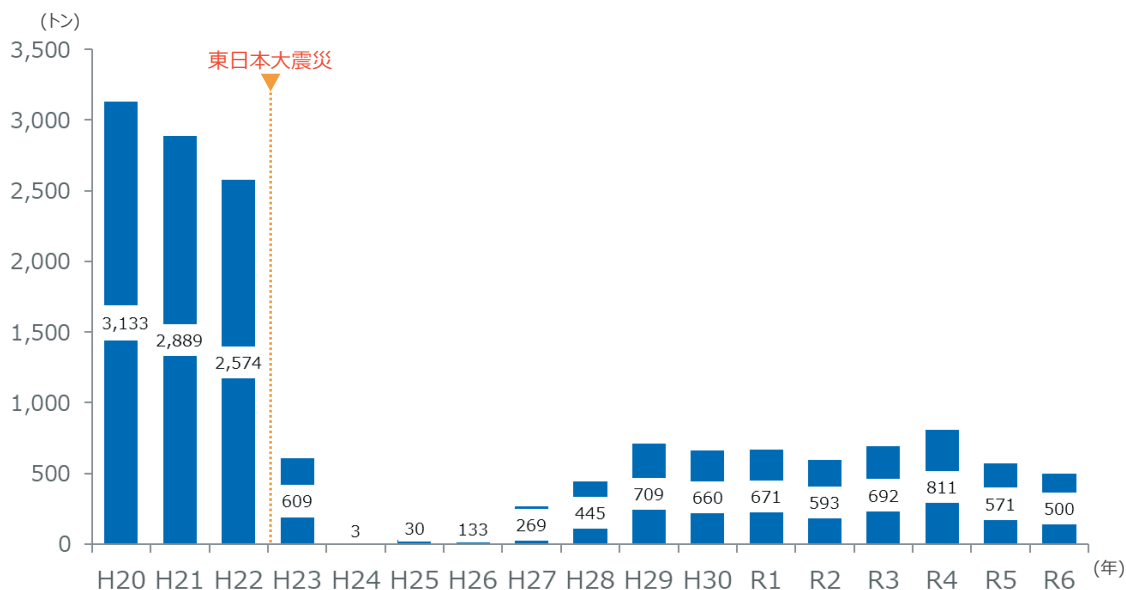
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産カツオを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
 ※見かけた人の割合のnはR3:7,095、R4:3,261、R5:2,679、R6:2,439、R7:2,691。
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていたら購入経験なしとなる。
 ※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

※福島県産カツオを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
 ※nはR3:345、R4:182、R5:175、R6:156、R7:154。

福島県におけるカレイ類の漁獲量の推移

福島県におけるカレイ類の漁獲量は、震災後の平成23年・平成24年に出荷制限等により大幅に減少した。平成25年以降は回復傾向にあり、令和4年には約800トンにまで増加したものの、令和6年は約500トンとなった。

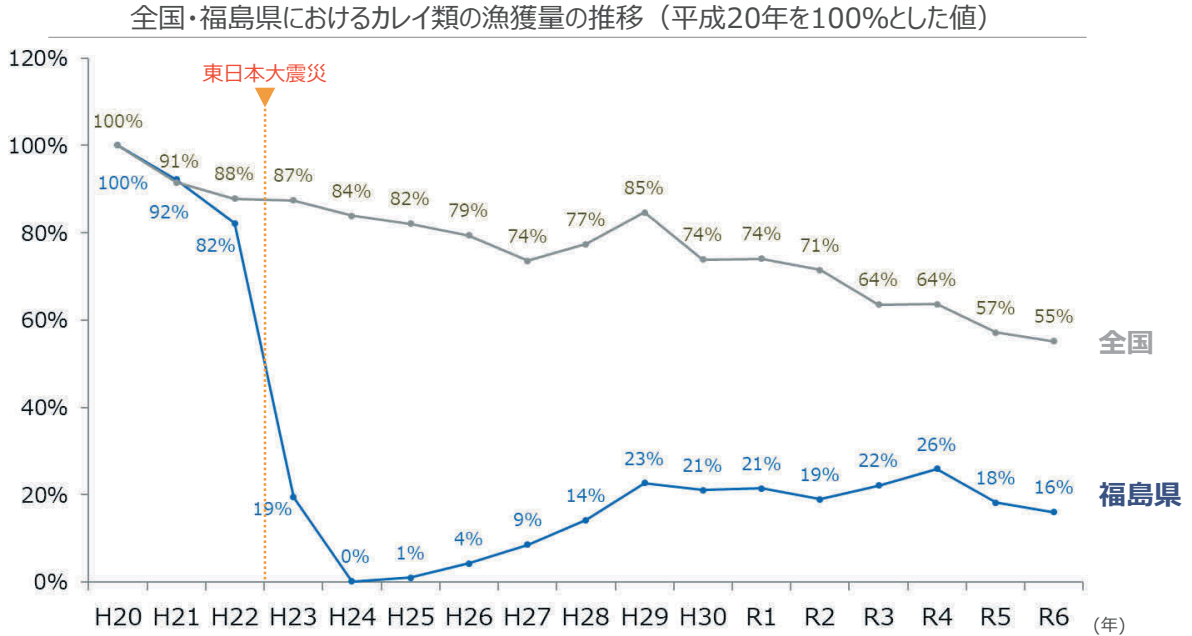
福島県におけるカレイ類の漁獲量の推移



データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」 ※ H23は震災前の漁獲を含む

全国・福島県におけるカレイ類の漁獲量の推移

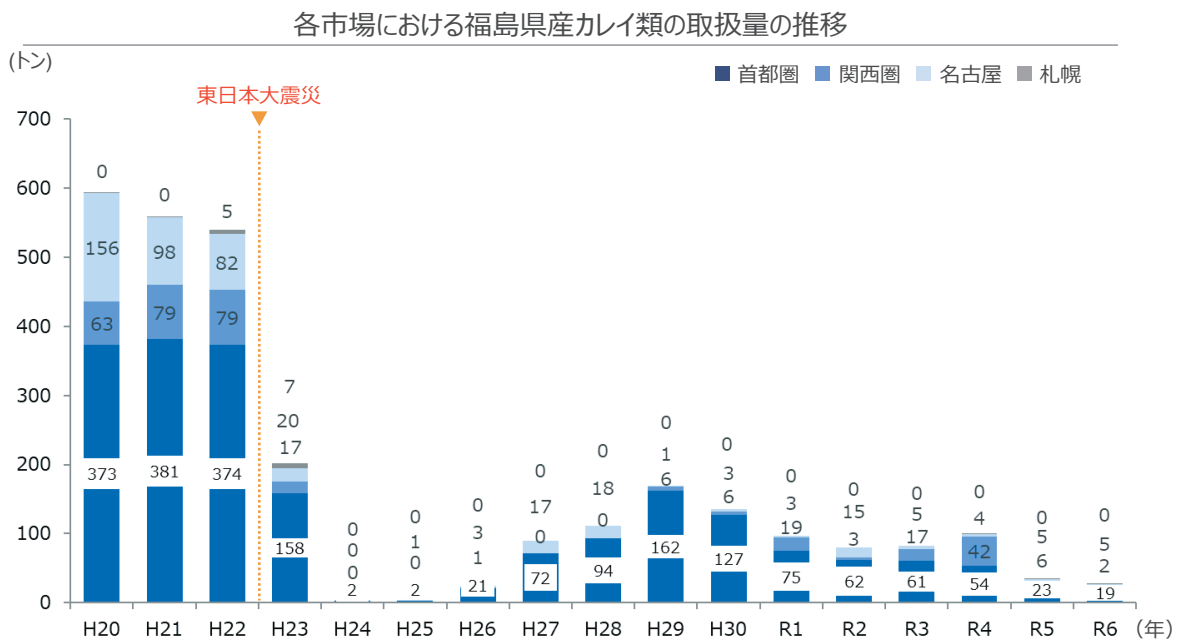
カレイ類の漁獲量は、全国的には平成28年と平成29年を除き減少傾向にある。福島県産カレイ類は、平成25年以降は緩やかな回復傾向で推移し、平成30年以降はほぼ横ばいで推移、令和5年以降はやや減少傾向にある。



データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」 ※ H23は震災前の漁獲を含む

各市場における福島県産カレイ類の取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産カレイ類は、震災前は首都圏、関西圏及び名古屋を中心に取引されていたが、震災後は首都圏での取扱いが中心となっている。令和5年以降の取扱量は僅かとなっている。



データ出所：各卸売市場の統計データ

※ H23は震災前の出荷を含む

※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

各市場におけるカレイ類の産地リレー(令和6年産・首都圏)

福島県産カレイ類の取扱いは、東京都中央卸売市場・横浜市中心卸売市場のいずれにおいても年間を通して僅かであった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

東京都中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	15	
北海道	73%	65%	72%	78%	73%	74%	61%	63%	76%	81%	83%	83%	2,586	
千葉	4%	4%	3%	5%	7%	7%	14%	10%	2%	2%	3%	5%	173	
宮城	3%	4%	10%	5%	5%	5%	4%	7%	4%	3%	2%	1%	161	
東京	6%	4%	3%	3%	7%	4%	3%	5%	5%	7%	4%	4%	159	
青森	2%	5%	6%	4%	5%	5%	13%	10%	4%	2%	1%	1%	156	
総量	257	339	503	386	333	299	192	132	194	200	323	336		

横浜市中心卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	2%	2%	2%	2%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	4	
北海道	72%	62%	61%	70%	59%	58%	52%	48%	47%	67%	81%	79%	205	
宮城	11%	12%	18%	13%	10%	10%	14%	26%	30%	22%	10%	10%	45	
青森	3%	8%	11%	7%	21%	15%	11%	9%	6%	1%	2%	1%	26	
岩手	5%	7%	1%	3%	2%	4%	4%	1%	1%	0%	1%	3%	9	
神奈川	2%	1%	1%	1%	1%	2%	3%	3%	4%	3%	1%	1%	5	
総量	22	35	39	51	31	27	14	11	15	18	27	26		

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

609

各市場におけるカレイ類の産地リレー(令和6年産・関西圏)

福島県産カレイ類の取扱いは、大阪市中央卸売市場では年間を通して僅かだが、6月はシェア3位となった。京都市中央卸売市場では、年間を通してほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

大阪市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	1%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2	
兵庫	26%	23%	35%	24%	15%	1%	0%	0%	75%	55%	51%	47%	177	
鳥取	50%	46%	36%	36%	42%	1%	0%	0%	5%	9%	4%	11%	176	
北海道	5%	7%	3%	1%	10%	95%	99%	98%	5%	18%	15%	27%	150	
福井	15%	16%	18%	31%	21%	0%	0%	0%	14%	14%	19%	12%	104	
宮城	1%	1%	2%	3%	7%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	11	
総量	51	94	88	101	74	48	39	30	45	26	30	24		

京都市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
福井	9%	21%	21%	28%	18%	1%	0%	0%	17%	6%	1%	1%	48	
鳥取	22%	13%	17%	10%	21%	0%	0%	0%	17%	31%	15%	17%	46	
宮城	8%	9%	6%	8%	13%	27%	17%	19%	14%	12%	30%	40%	44	
石川	14%	12%	14%	18%	9%	15%	2%	3%	4%	5%	9%	4%	36	
青森	9%	10%	11%	10%	14%	20%	15%	22%	1%	1%	8%	7%	34	
総量	22	43	55	52	37	20	13	10	18	16	19	16		

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

610

各市場におけるカレイ類の産地リレー(令和6年産・その他)

福島県産カレイ類の取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通して僅かであった。札幌市中央卸売市場では、年間を通してほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	1%	0%	1%	5	
北海道	39%	41%	47%	50%	64%	66%	54%	56%	54%	86%	90%	86%	851	
東京	11%	10%	11%	13%	18%	22%	26%	33%	8%	5%	1%	1%	175	
福井	5%	18%	20%	13%	5%	0%	0%	0%	3%	0%	0%	0%	109	
石川	9%	9%	10%	14%	4%	0%	0%	0%	3%	1%	1%	1%	79	
愛知	8%	3%	2%	2%	3%	4%	4%	2%	1%	2%	4%	3%	45	
総量	98	164	196	180	155	103	83	58	73	84	156	81		

札幌市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
北海道	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	3,120	
東京	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3	
青森	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1	
宮城	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
総量	151	201	474	415	257	254	258	155	149	177	311	321		

データ出所：各卸売市場の統計データ

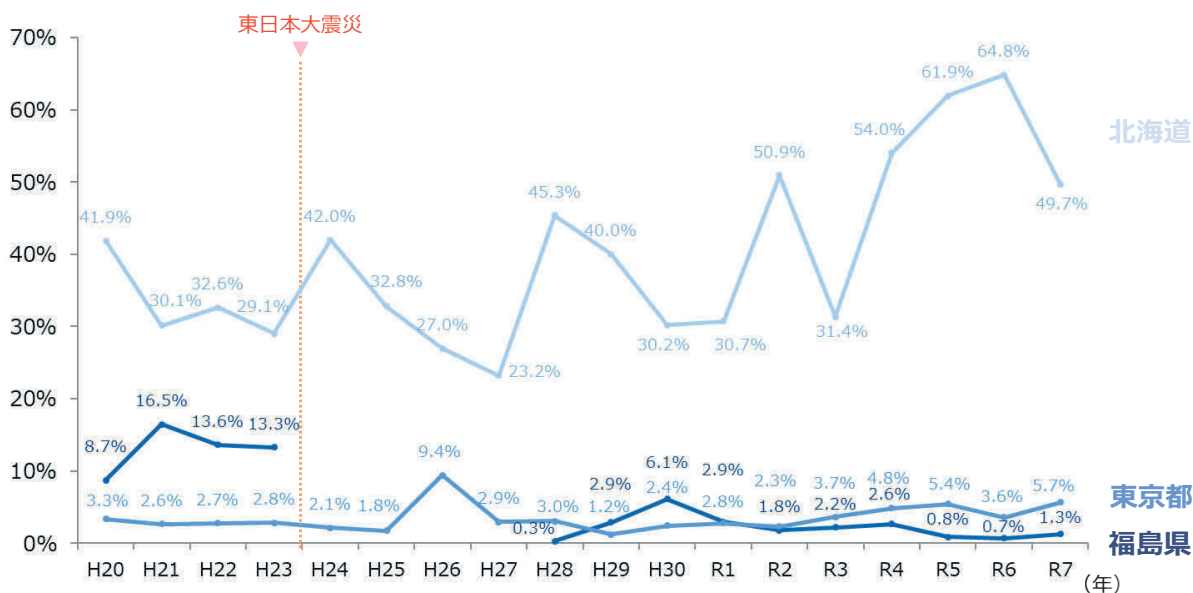
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

611

東京都中央卸売市場における福島県産カレイ類のシェアの推移

東京都中央卸売市場における2月の福島県産カレイ類のシェアは、震災前は13%程度を占めていたが、震災以降、10%未満を推移している。平成29年から令和元年にかけては東京都産を上回っていたが、令和2年以降は東京都産を下回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産のシェア(2月)



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

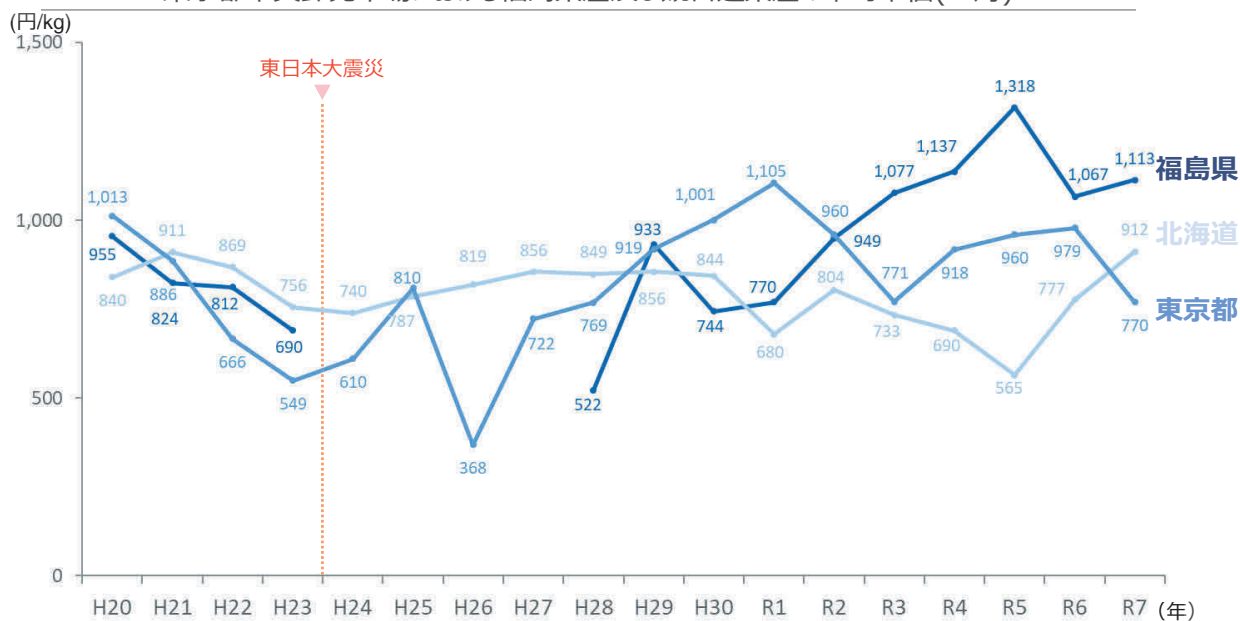
※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし
※カレイ類は、平成24年以降魚種ごとに順次試験操業の対象魚種となり出荷が再開されたが、H27年以前は2月の市場での取扱いはなかった。

612

東京都中央卸売市場における福島県産カレイ類の単価の推移

東京都中央卸売市場における2月の福島県産カレイ類の平均単価は、平成28年の取扱い再開時点では、北海道産・東京都産を下回っていた。徐々に平均単価が上昇し、令和3年以降は東京都産・北海道産の平均単価を上回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産の平均単価(2月)



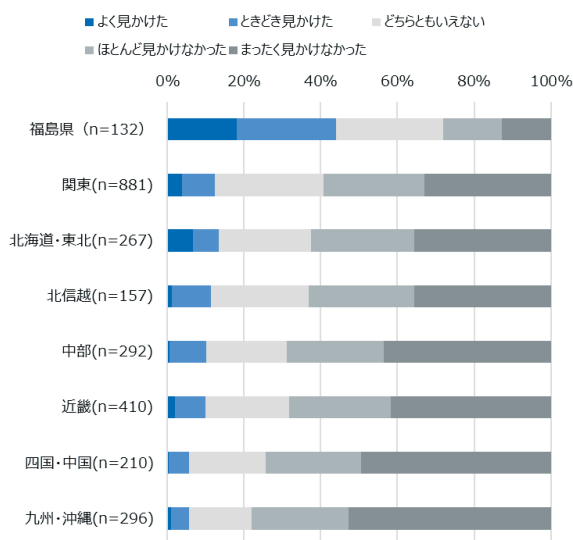
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし
 ※カレイ類は、平成24年以降魚種ごとに順次試験操業の対象魚種となり出荷が再開されたが、H27年以前は2月の市場での取扱いがなかった。

福島県産カレイ類を見た経験と購入経験（消費者アンケート）

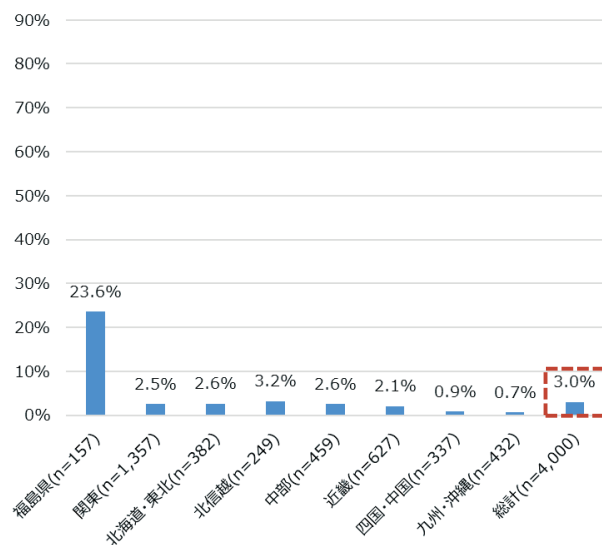
福島県産カレイ類を店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産カレイ類を購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では3.0%であった。

福島県産カレイ類を店頭で見かけたか



※過去1〜2年に、店頭で福島県産カレイ類を見た記憶を尋ねた。
 ※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産カレイ類の購入経験率

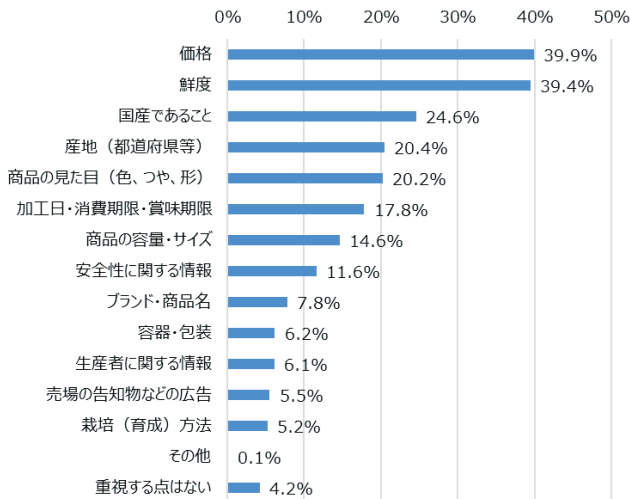


※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 ※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

カレイ類購入時の重視点と福島県産カレイ類の購入者の評価（消費者アンケート）

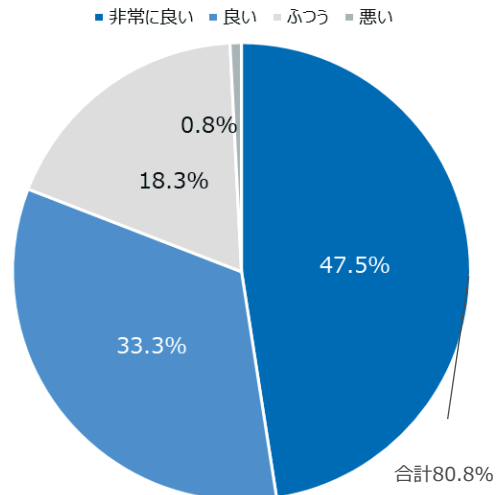
福島県産に限らずカレイ類購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産カレイ類の購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が80.8%であった。

カレイ類購入時の重視点（n=1,084、複数回答）



※カレイ類購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
 ※月に1回以上カレイ類を購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産カレイ類の購入者の評価（n=120）

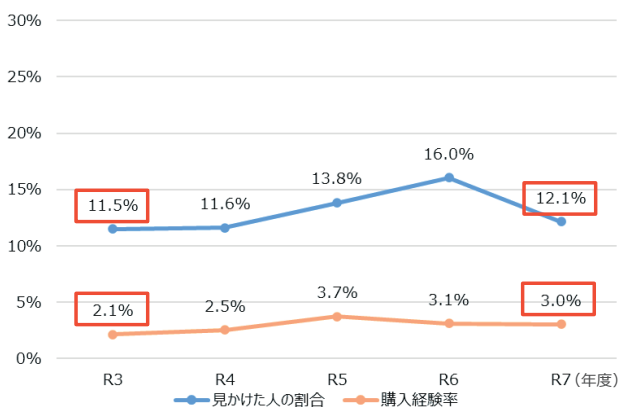


※福島県産カレイ類を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

福島県産カレイ類を見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

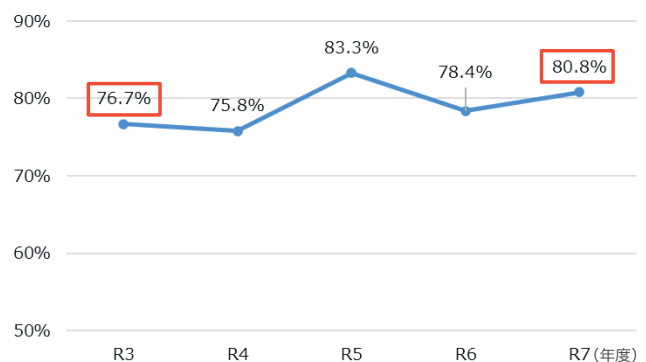
令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産カレイ類を店頭で見かけた人の割合、購入経験率は、それぞれ0.6%、0.9%上昇した。福島県産カレイ類の評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は4.1%上昇した。

福島県産カレイ類を見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産カレイ類を見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
 ※見かけた人の割合のnはR3:6,809、R4:3,105、R5:2,606、R6:2,357、R7:2,645。
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
 ※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

福島県産カレイ類を高く評価している人の割合

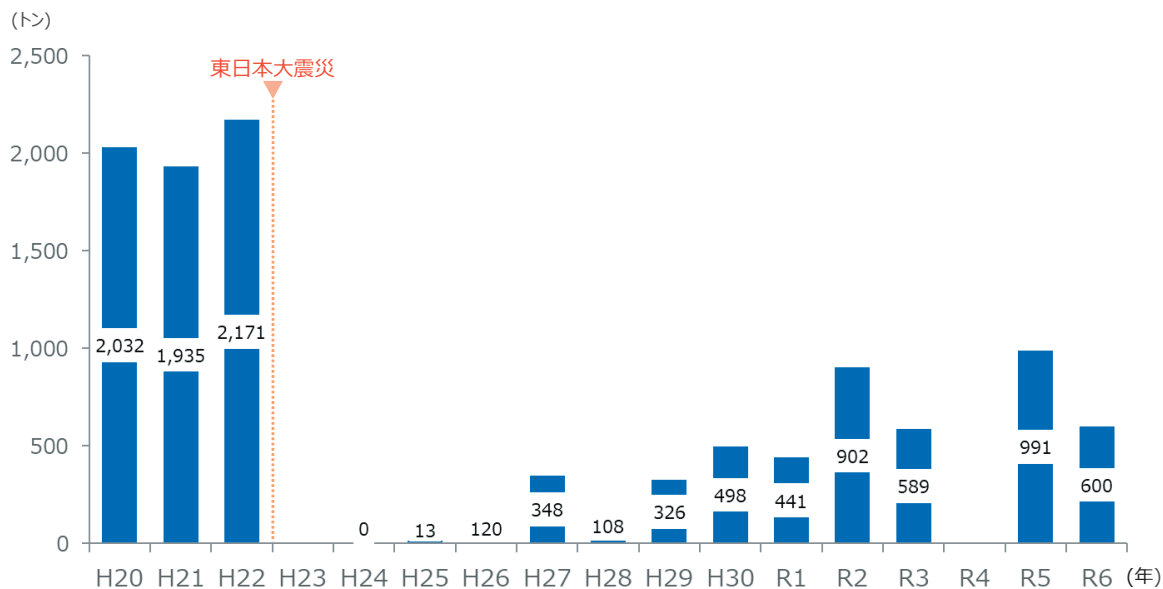


※福島県産カレイ類を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
 ※nはR2:199、R3:236、R4:136、R5:149、R6:125、R7:120。

福島県におけるシラスの漁獲量の推移

福島県のシラスの漁獲量は、近年徐々に回復している。ただし、震災後で最も水揚量が多かった令和5年でも、震災前の半分以下の水準であり、震災以前の水準を未だ大きく下回っている。

福島県におけるシラスの漁獲量の推移



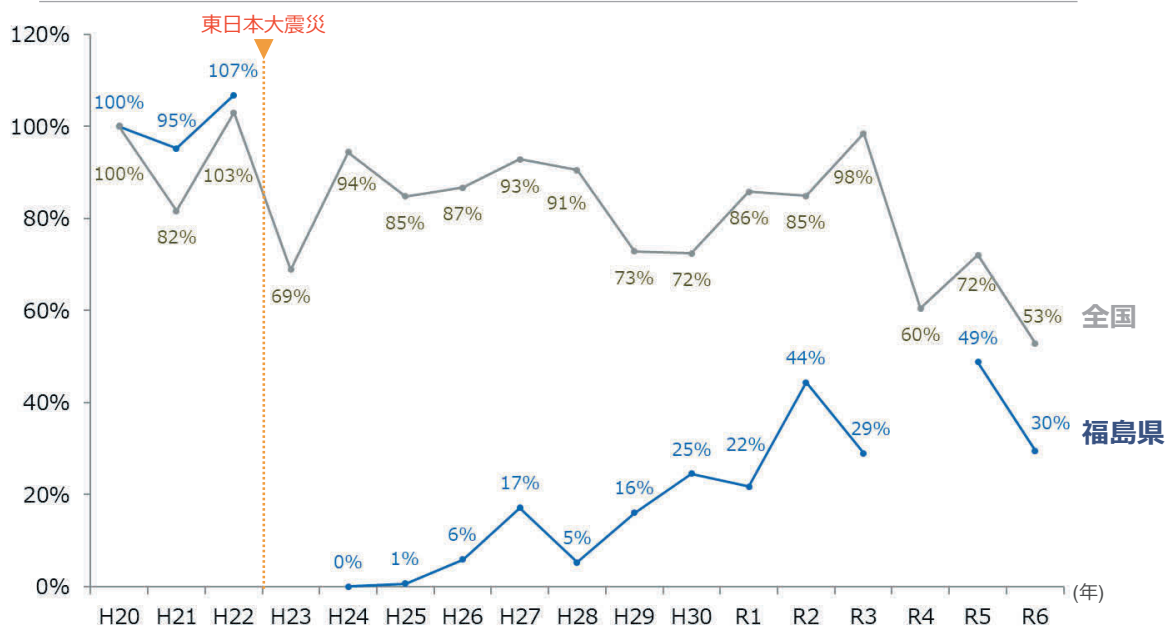
※ H23、R4は個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していない。

データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

全国・福島県におけるシラスの漁獲量の推移

全国のシラスの漁獲量は、年によって変動が大きいですが、令和6年は震災前の平成20年の53%となっている。福島県産シラスの漁獲量は、震災後最も多い令和5年でも平成20年の49%と、震災前の半分以下となっている。

全国・福島県におけるシラスの漁獲量の推移（平成20年を100%とした値）



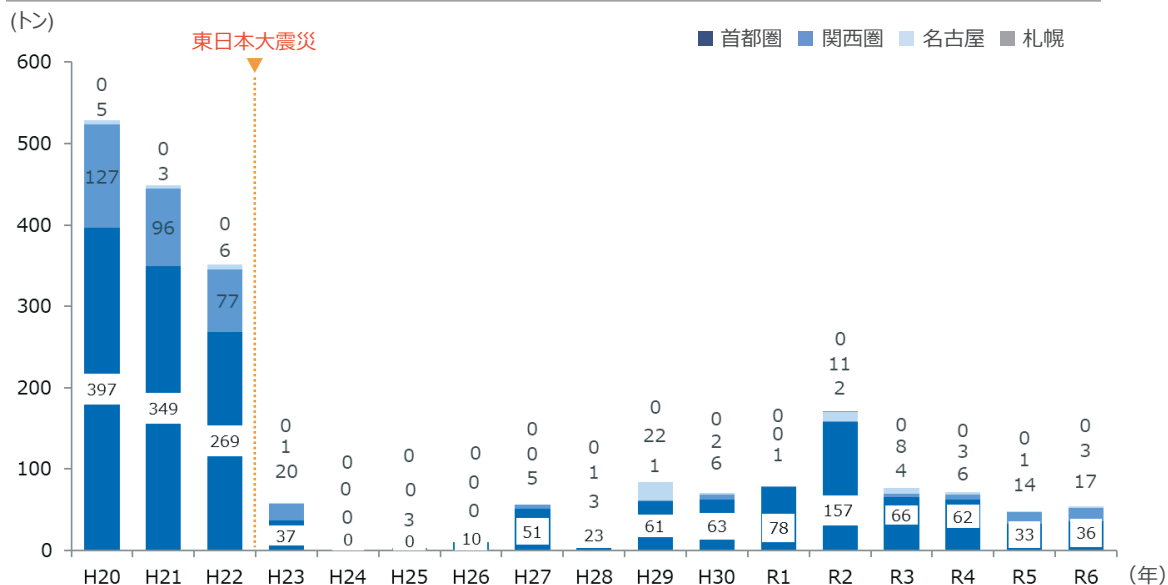
※ 福島県のH23、R4は個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していない。

データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

各市場における福島県産シラスの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産シラスは、震災前後を通じて、首都圏を中心に取引されている。震災後、関西圏での取扱いが大幅に減り、ほぼ見られなくなったが、令和5年以降取扱いがやや増えている。

各市場における福島県産シラスの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ

※ H23は震災前の出荷を含む
※シラスは、平成25年に試験操業の対象魚種となり出荷が再開された。

※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

各市場におけるシラスの産地リレー(令和6年産・首都圏)

福島県産シラスの取扱いは、東京都中央卸売市場では年間を通じて僅かであった。横浜市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

市場	各月で市場シェア1位～3位の順に												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
東京都中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	1%	0%	2%	2%	0%	0%	0%	0%	1%	36
兵庫	18%	17%	12%	10%	20%	45%	41%	42%	37%	26%	20%	15%	1,737
和歌山	14%	20%	16%	17%	16%	7%	7%	7%	9%	12%	8%	8%	679
徳島	11%	7%	5%	4%	12%	8%	10%	20%	19%	13%	5%	5%	630
愛媛	4%	3%	7%	8%	10%	3%	1%	4%	7%	19%	30%	14%	555
愛知	8%	7%	7%	11%	10%	4%	4%	6%	3%	3%	2%	7%	351
総量	396	341	464	449	470	827	652	742	461	429	539	454	
横浜市中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
茨城	0%	0%	0%	22%	34%	27%	36%	41%	27%	32%	20%	31%	51
東京	24%	16%	5%	4%	3%	11%	6%	22%	12%	30%	30%	23%	32
静岡	20%	8%	30%	26%	28%	6%	5%	7%	21%	6%	6%	6%	29
大阪	15%	33%	34%	22%	10%	8%	18%	3%	18%	3%	6%	4%	29
和歌山	4%	7%	7%	6%	7%	5%	5%	6%	5%	6%	9%	13%	13
総量	13	12	15	19	19	21	21	19	20	17	19	16	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるシラスの産地リレー(令和6年産・関西圏)

福島県産シラスの取扱いは、大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して僅かであった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

市場	各月で市場シェア1位～3位の順に												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
大阪市中央卸売市場													
福島	0%	0%	1%	0%	0%	1%	1%	0%	1%	1%	1%	0%	9
兵庫	35%	38%	23%	20%	36%	81%	71%	62%	64%	58%	54%	36%	771
徳島	4%	9%	5%	2%	17%	5%	7%	17%	17%	14%	12%	9%	135
愛知	2%	5%	15%	20%	15%	1%	0%	2%	1%	2%	1%	7%	70
愛媛	3%	2%	1%	16%	4%	0%	0%	5%	3%	10%	10%	3%	59
宮崎	4%	2%	23%	6%	1%	0%	3%	3%	1%	1%	1%	3%	52
総量	67	68	109	100	89	267	175	166	114	89	90	76	
京都市中央卸売市場													
福島	1%	0%	0%	0%	0%	6%	4%	0%	1%	0%	0%	0%	8
兵庫	3%	3%	9%	11%	21%	44%	26%	24%	19%	14%	11%	7%	102
和歌山	24%	22%	21%	24%	23%	9%	8%	9%	15%	16%	16%	13%	81
徳島	8%	10%	3%	4%	15%	7%	15%	35%	31%	16%	21%	14%	81
大阪	21%	13%	19%	18%	15%	14%	8%	7%	7%	16%	17%	17%	72
愛媛	8%	11%	4%	9%	5%	1%	5%	5%	8%	10%	7%	9%	33
総量	29	37	48	36	37	76	62	66	37	34	34	37	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。621

各市場におけるシラスの産地リレー(令和6年産・その他)

福島県産シラスの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

市場	各月で市場シェア1位～3位の順に												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
名古屋市中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	0%	1%	3
愛知	75%	77%	68%	92%	75%	51%	58%	66%	62%	67%	55%	71%	747
兵庫	11%	7%	5%	3%	12%	45%	36%	29%	32%	19%	19%	8%	264
愛媛	0%	0%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	18%	12%	34
和歌山	0%	7%	6%	2%	5%	1%	0%	0%	1%	3%	4%	0%	21
徳島	1%	2%	0%	1%	2%	0%	2%	3%	1%	1%	1%	1%	14
総量	53	46	55	79	104	170	168	126	89	59	91	103	
札幌市中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
東京	64%	49%	75%	74%	35%	75%	78%	76%	73%	53%	54%	70%	67
北海道	26%	32%	16%	16%	53%	15%	13%	18%	21%	34%	34%	17%	23
香川	5%	7%	3%	5%	6%	4%	4%	3%	2%	5%	6%	6%	4
福岡	6%	7%	4%	4%	5%	5%	3%	3%	3%	4%	5%	4%	4
兵庫	0%	2%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	0%	1%	1%	1
総量	5	5	10	11	7	7	11	13	11	7	7	6	

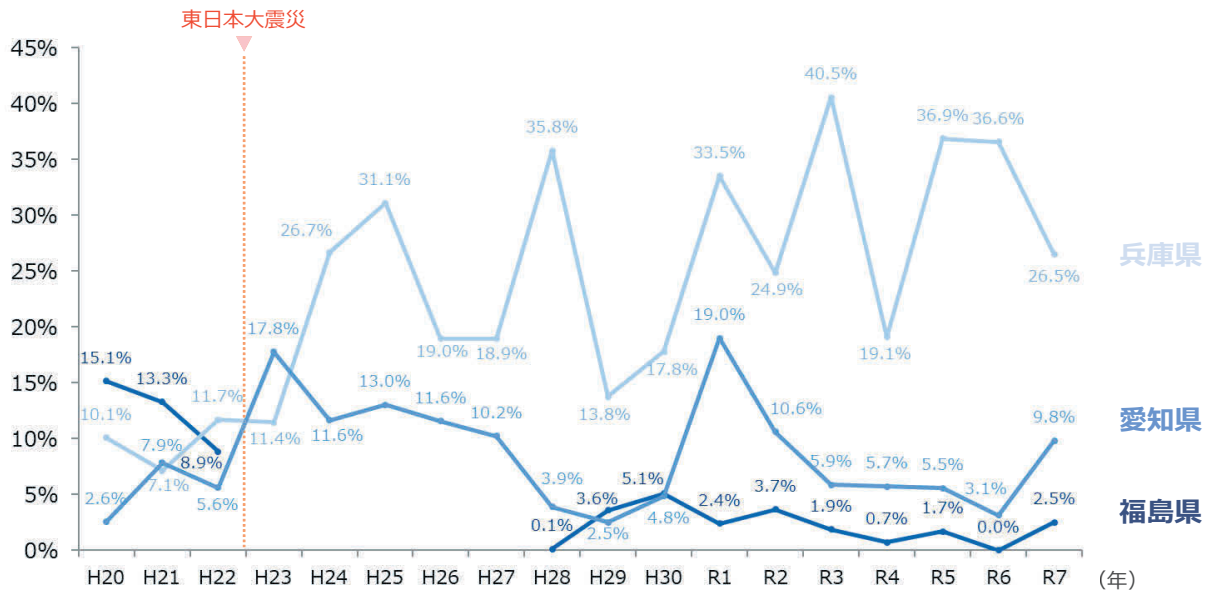
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。622

東京都中央卸売市場における福島県産シラスのシェアの推移

東京都中央卸売市場における9月の福島県産シラスは、震災以前はシェア1位を獲得していたが、震災後に一度取扱いがなくなった。平成28年以降に取扱いが再開されたものの、震災以前の水準には回復しておらず、兵庫県産がシェア1位を占めている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(9月)

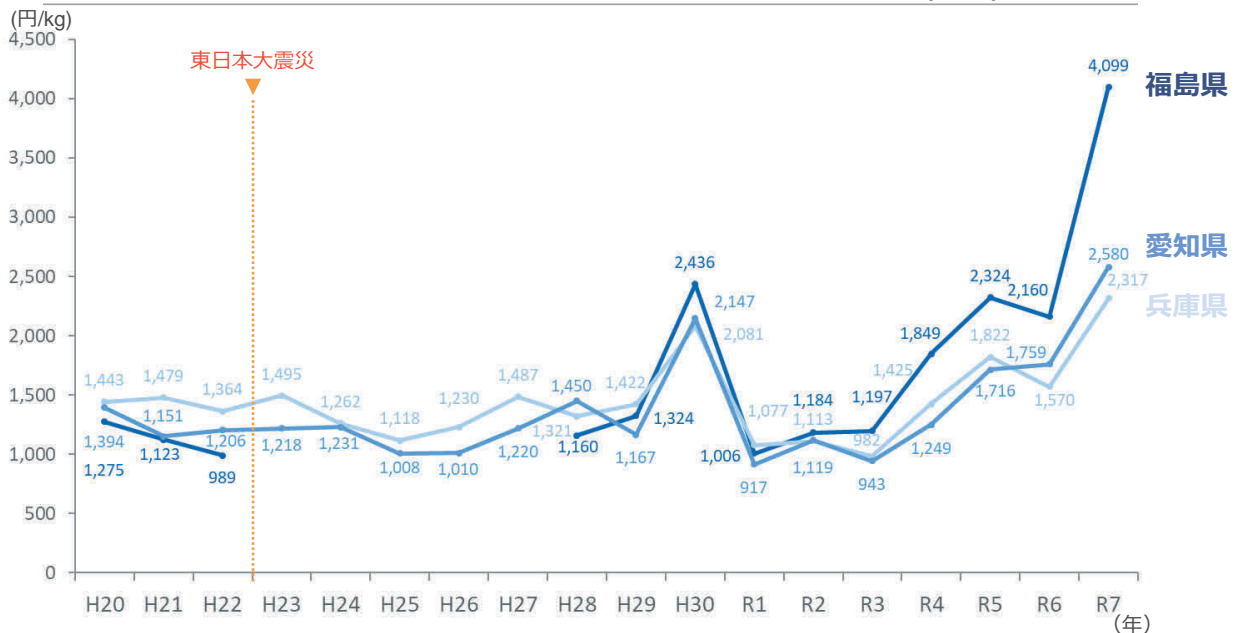


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」 ※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし

東京都中央卸売市場における福島県産シラスの単価の推移

東京都中央卸売市場における9月の福島県産シラスの平均単価は、震災以前、兵庫県産・愛知県産より低い価格で推移していた。平成28年に取扱いが再開され、平成30年以降は両県よりも概ね高い価格で推移し、令和7年は4,099円/kgの高値となった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(9月)

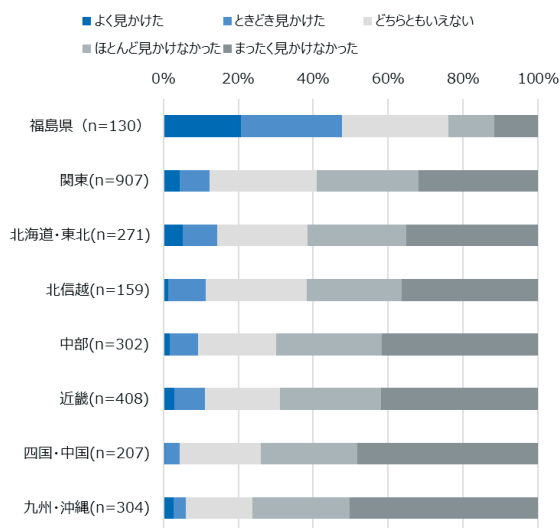


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」 ※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし

福島県産シラスを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

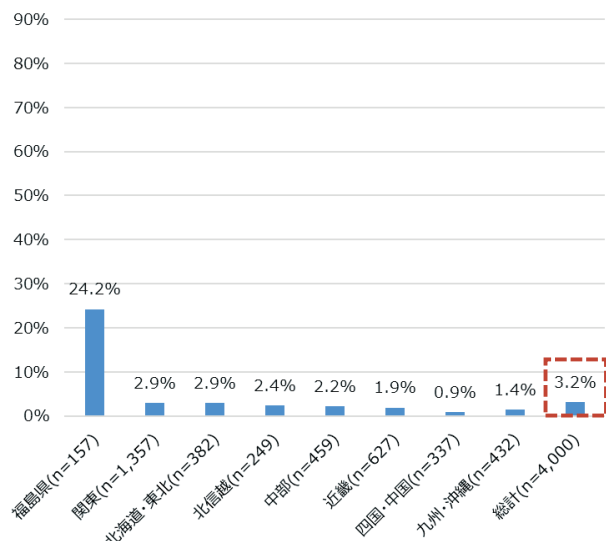
福島県産シラスを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産シラスを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では3.2%であった。

福島県産シラスを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産シラスを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産シラスの購入経験率



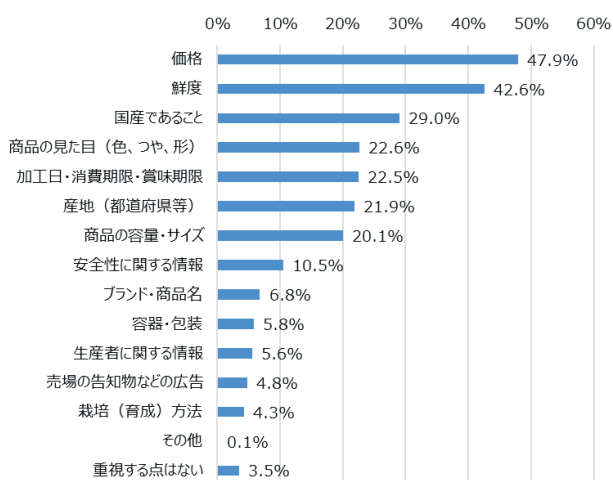
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

625

シラス購入時の重視点と福島県産シラスの購入者の評価（消費者アンケート）

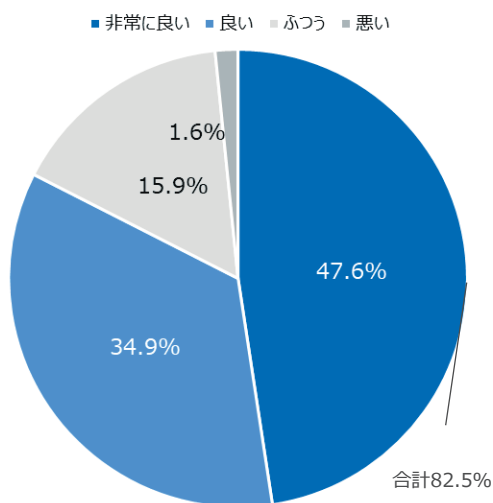
福島県産に限らずシラス購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産シラスの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が82.5%であった。

シラス購入時の重視点 (n=1,919、複数回答)



※シラス購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上シラスを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産シラスの購入者の評価 (n=126)



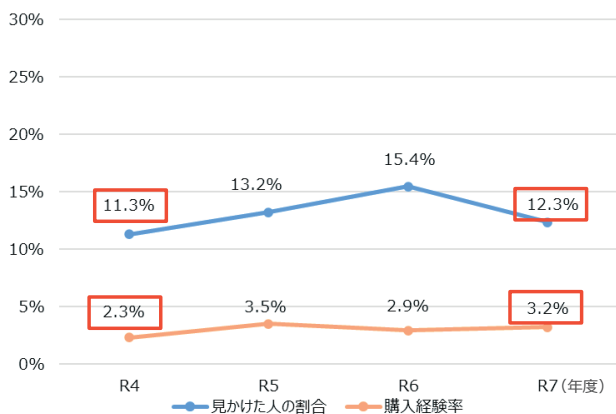
※福島県産シラスを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

626

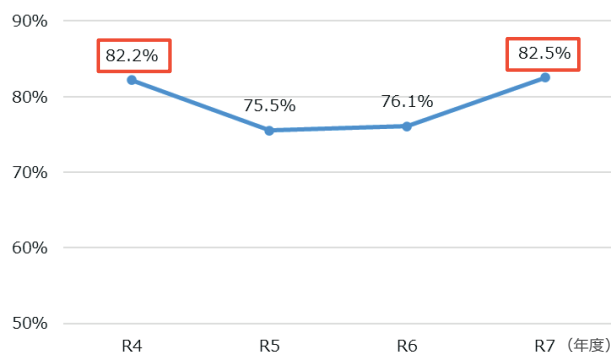
福島県産シラスを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和4年度と令和7年度を比較すると、福島県産シラスを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ1.1%、0.9%上昇し、福島県産シラスの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は0.3%上昇した。

福島県産シラスを見かけた人の割合、購入経験率



福島県産シラスを高く評価している人の割合



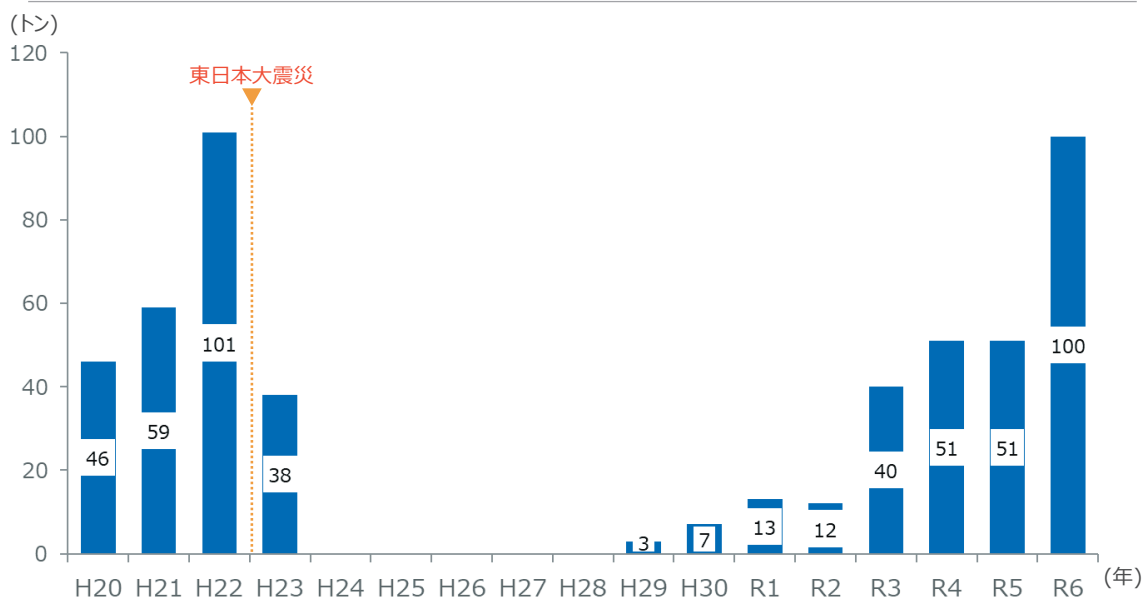
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産シラスを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
 ※見かけた人の割合のnはR4:3,233、R5:2,665、R6:2,429、R7:2,688。
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていたら購入経験なしとなる。
 ※購入経験率のnはR4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

※福島県産シラスを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
 ※nはR4:129、R5:139、R6:117、R7:126。

福島県におけるフグ類の漁獲量の推移

福島県のフグ類の漁獲量は、平成24年～28年はなかったが、平成29年以降段階的に増加し、令和6年には震災前の平成22年と同程度の水準となった。

福島県におけるフグ類の漁獲量の推移



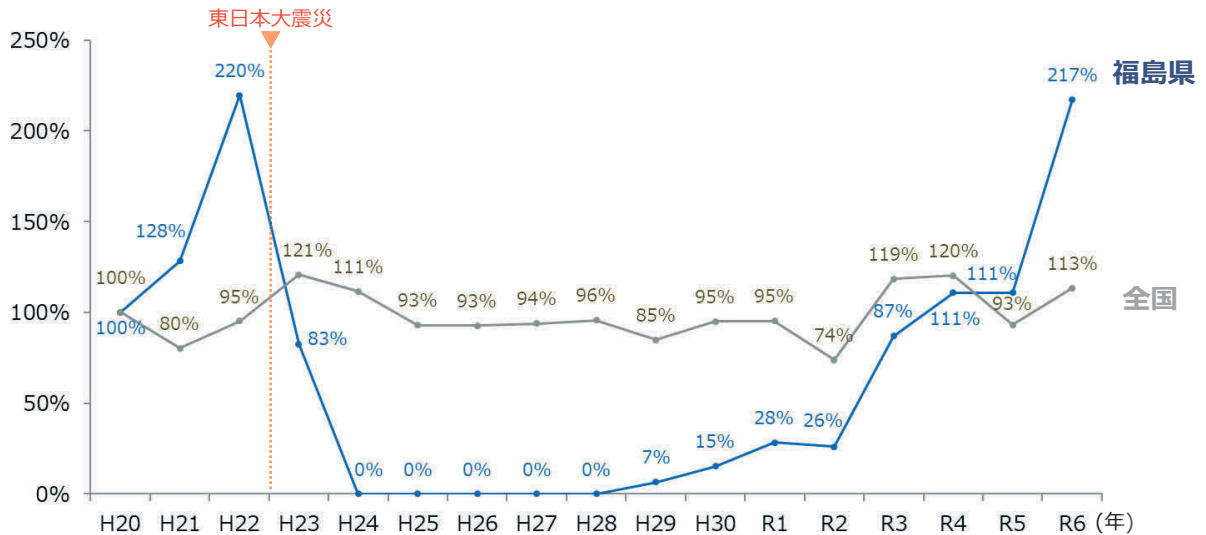
データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

※ H23は震災前の漁獲を含む
 ※「フグ類」のデータ：トラフグに加え、マフグ、カラス、ヒガンフグ、ショウサイフグ、サバフグを含む

全国と福島県におけるフグ類の漁獲量の推移

フグ類の漁獲量は、全国では令和3年・令和4年が平成20年の約120%まで増加していたが、令和6年は約113%と減少。福島県においては平成29年から増加傾向にあり、令和6年は震災以前の平成22年と同水準にまで回復している。

全国・福島県におけるフグ類の漁獲量の推移（平成20年を100%とした値）



データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

※ H23は震災前の漁獲を含む

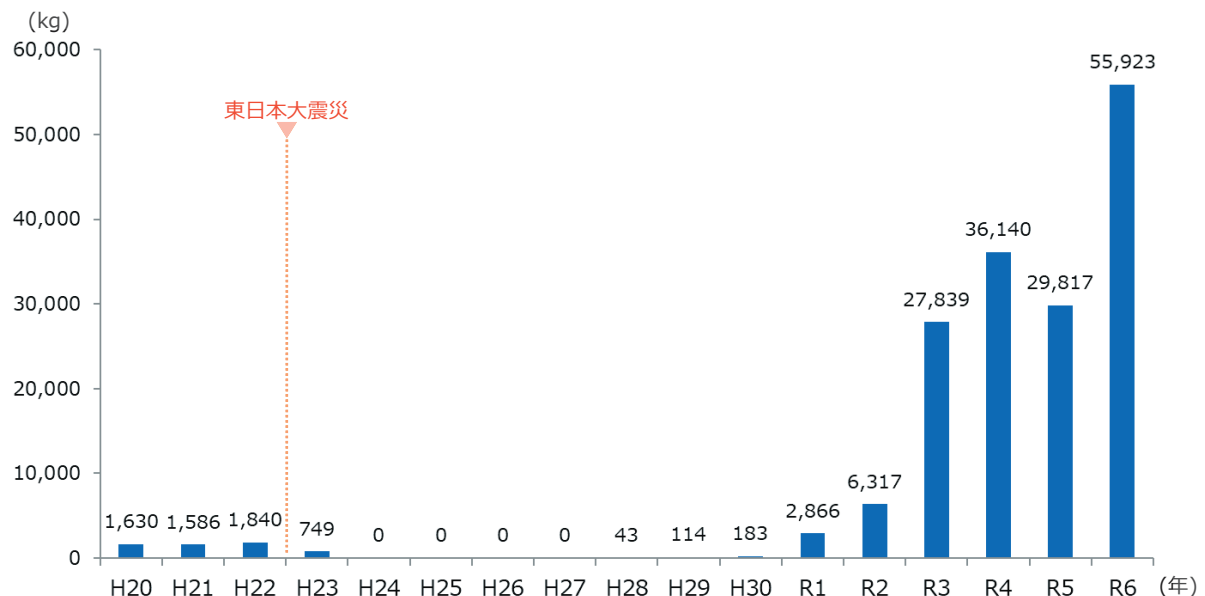
※「フグ類」のデータ：トラフグに加え、マフグ、カラス、ヒガンフグ、ショウサイフグ、サバフグを含む

629

福島県におけるトラフグの漁獲量の推移

福島県のトラフグの漁獲量は、平成24年～27年はなかったが、平成28年以降、海流の変化や水温の上昇の影響も受けつつ段階的に増加し、令和6年は約56トンの漁獲量となった。

福島県におけるトラフグの漁獲量の推移



データ出所：福島県（水産海洋研究センター）のデータを基に作成

※H23は震災前の漁獲を含む

※平成24～26年は、東日本大震災の影響による操業自粛等があり漁獲は皆無

630

各市場におけるフグの産地リレー(令和6年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場では、福島県産トラフグが10月・11月にシェア3位となった。京都市中央卸売市場では、年間を通してほとんど取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

大阪市中央卸売市場		トラフグのデータ												各月で市場シェア1位~3位の順に
		■ ■ ■ で色付け												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島		1%	1%	1%	1%	0%	1%	0%	0%	0%	20%	9%	3%	3
中国		53%	46%	18%	0%	0%	0%	0%	0%	16%	27%	44%	43%	36
長崎		13%	17%	56%	30%	13%	13%	5%	3%	0%	0%	8%	24%	17
大分		10%	7%	0%	8%	26%	6%	8%	19%	18%	21%	23%	16%	13
山口		4%	6%	6%	14%	10%	29%	23%	26%	11%	7%	6%	4%	6
佐賀		6%	16%	6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	3%	4
総量		15	10	4	2	2	1	1	1	2	5	10	37	

京都市中央卸売市場		フグのデータ												各月で市場シェア1位~3位の順に
		■ ■ ■ で色付け												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
香川		39%	38%	37%	13%	1%	0%	0%	0%	21%	31%	39%	44%	44
長崎		26%	22%	22%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	11%	18%	20
熊本		2%	8%	9%	29%	20%	8%	44%	50%	37%	16%	12%	9%	11
山口		6%	12%	15%	25%	18%	10%	40%	34%	20%	13%	6%	6%	11
徳島		6%	0%	1%	7%	3%	0%	0%	0%	2%	7%	6%	8%	6
総量		24	16	9	3	1	3	0	1	1	6	12	40	

※市場によって商品分類が異なるため、留意が必要。
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。633

各市場におけるフグの産地リレー(令和6年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、福島県産フグ類の取扱いは1月~3月・9月~12月にかけて見られた(1%に満たない数量の月を含む)。札幌市中央卸売市場では、年間を通して取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場		フグ類のデータ												各月で市場シェア1位~3位の順に
		■ ■ ■ で色付け												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島		1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	8%	1%	1%	1
山口		25%	19%	23%	29%	41%	71%	45%	48%	47%	19%	23%	23%	22
熊本		30%	31%	18%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	10%	15%	26%	17
愛知		10%	11%	13%	7%	14%	17%	28%	24%	24%	25%	23%	13%	13
鳥取		18%	19%	18%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	19%	21%	13
三重		5%	7%	6%	5%	1%	1%	9%	13%	6%	4%	5%	6%	5
総量		12	11	6	2	2	2	1	1	2	8	11	26	

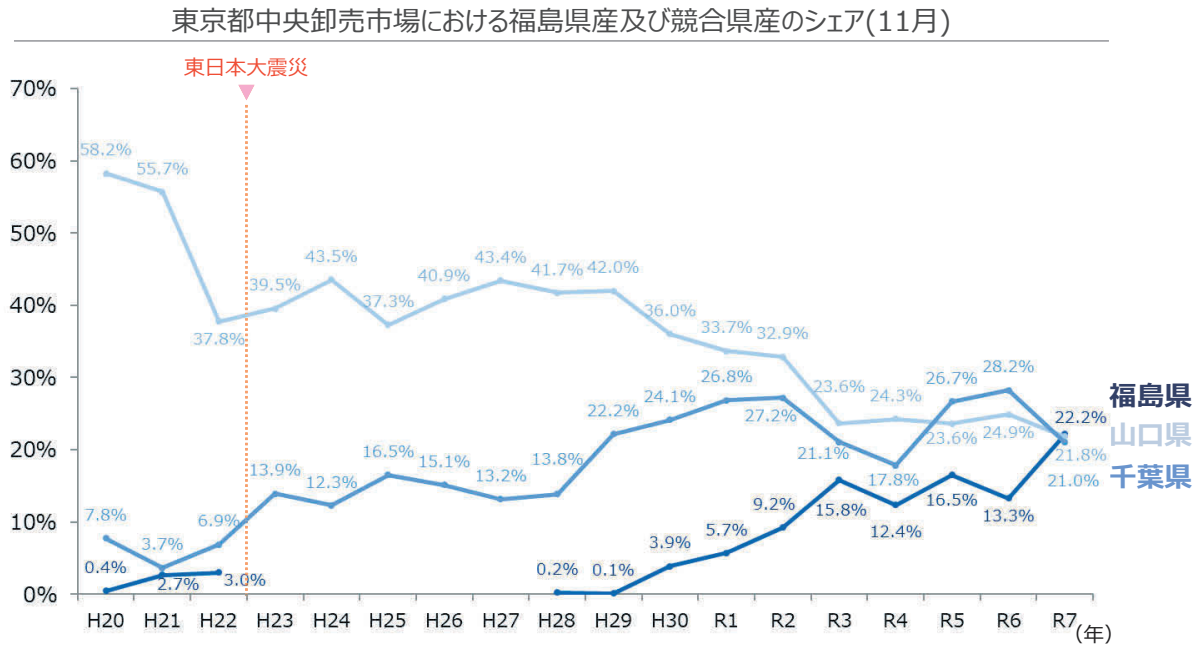
札幌市中央卸売市場		フグのデータ												各月で市場シェア1位~3位の順に
		■ ■ ■ で色付け												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道		0%	0%	0%	9%	98%	100%	100%	99%	100%	88%	24%	0%	18
山口		89%	91%	94%	88%	0%	0%	0%	1%	0%	9%	46%	59%	2
東京		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	25%	35%	1
福岡		10%	9%	6%	3%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	6%	0
秋田		0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量		1	1	0	0	2	9	2	0	5	1	1	1	

※市場によって商品分類が異なるため、留意が必要。
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産トラフグのシェアの推移

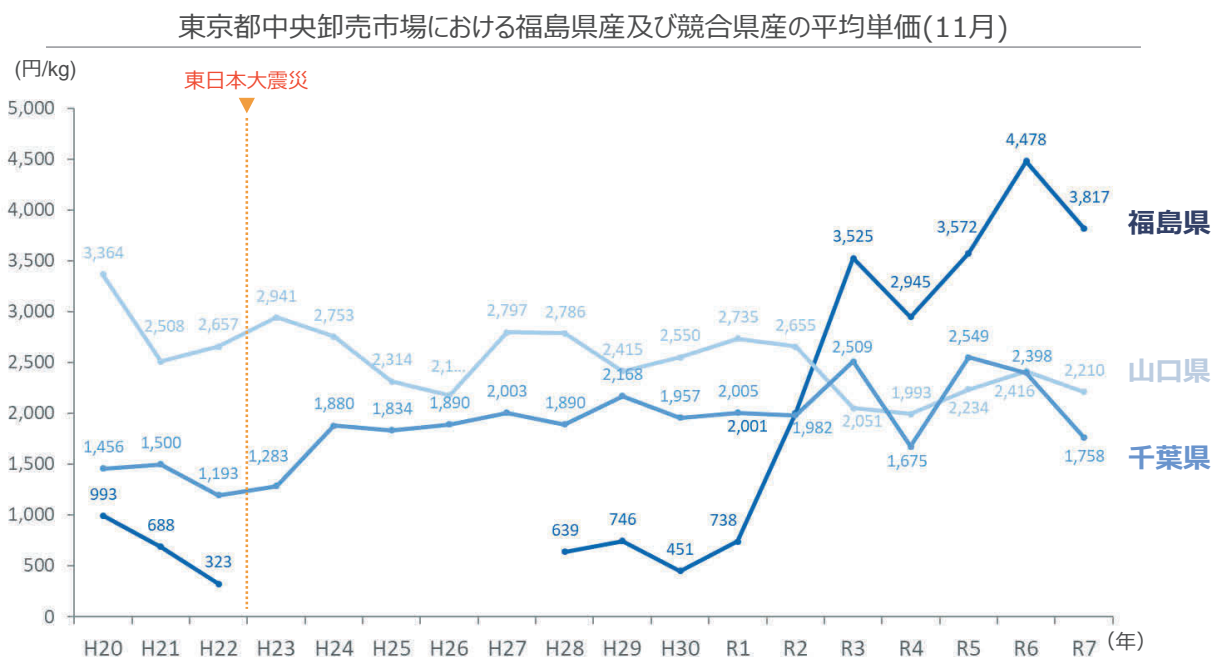
東京都中央卸売市場における11月の福島県産トラフグのシェアは、震災以前は山口県産・千葉県産を下回っていた。平成28年以降、徐々にシェアを回復し、平成30年には震災以前の水準を上回り、令和7年は山口県産・千葉県産を上回る22.2%となった。



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」 ※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし

東京都中央卸売市場における福島県産トラフグの単価の推移

東京都中央卸売市場における11月の福島県産トラフグの平均単価は、震災前は山口県産・千葉県産を下回っていた。平成28年以降、平均単価は上昇傾向にあり、特に令和2年以降の伸びが大きく、近年は山口県産・千葉県産を上回る価格で推移している。

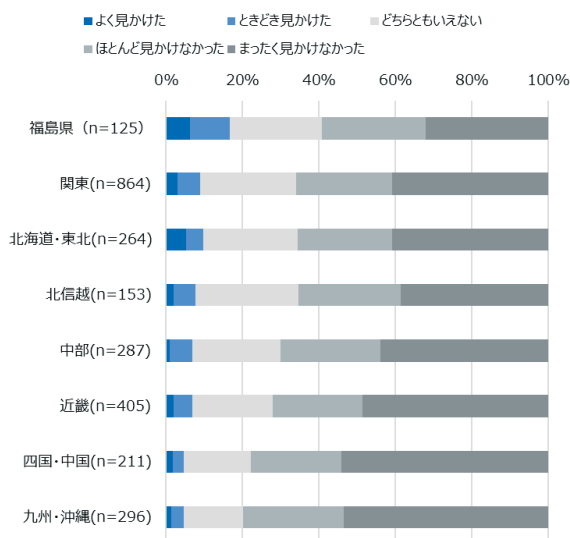


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」 ※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし

福島県産トラフグを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

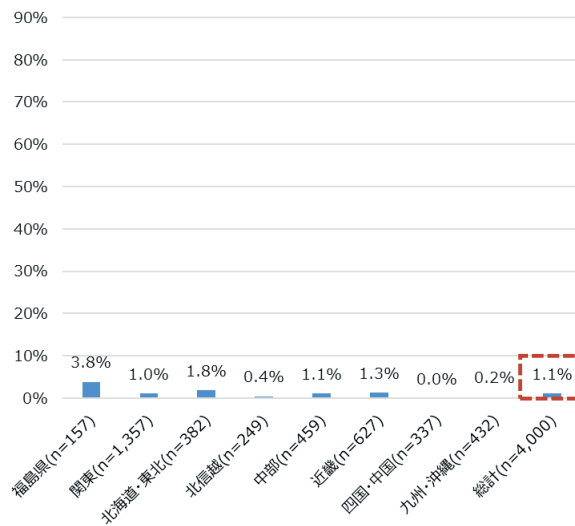
福島県産トラフグを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高かったが、福島県を含むその他の地域で10%に満たない。福島県産トラフグを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では1.1%であった。

福島県産トラフグを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産トラフグを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産トラフグの購入経験率



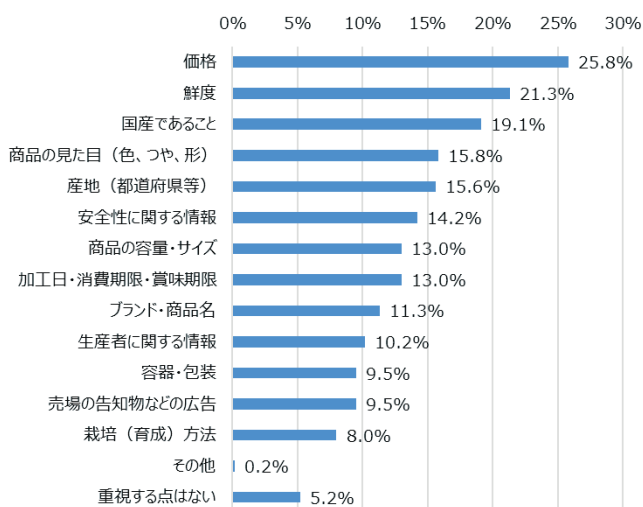
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

637

トラフグ購入時の重視点と福島県産トラフグの購入者の評価（消費者アンケート）

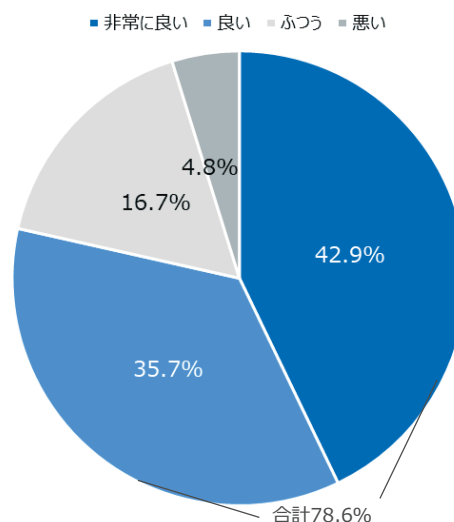
福島県産に限らずトラフグ購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産トラフグの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が78.6%であった。

トラフグ購入時の重視点 (n=423、複数回答)



※トラフグ購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上トラフグを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産トラフグの購入者の評価 (n=42)



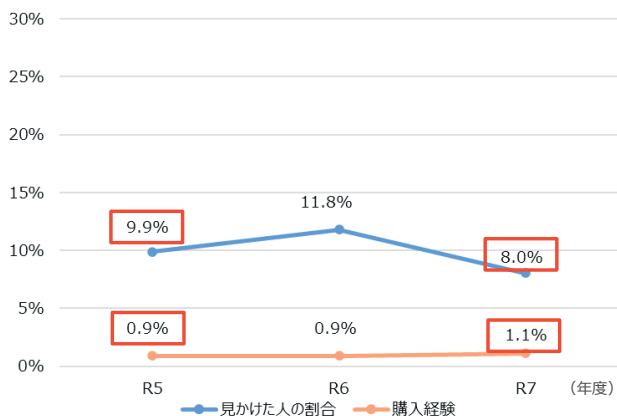
※福島県産トラフグを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

638

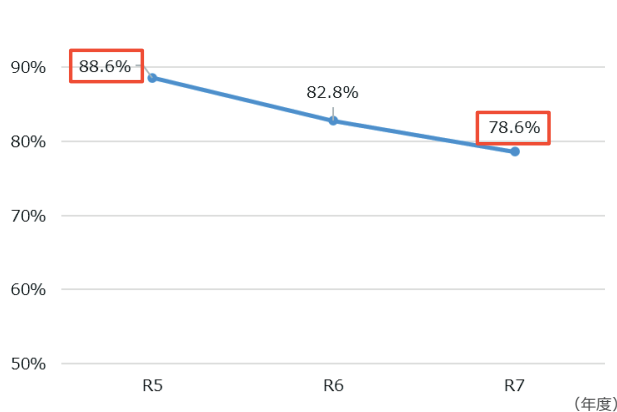
福島県産トラフグを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和5年度と令和7年度を比較すると、福島県産トラフグを店頭で見かけた人の割合は1.9%下降、購入経験率は0.2%上昇した。福島県産トラフグの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は10.0%低下した。

福島県産トラフグを見かけた人の割合、購入経験率



福島県産トラフグを高く評価している人の割合



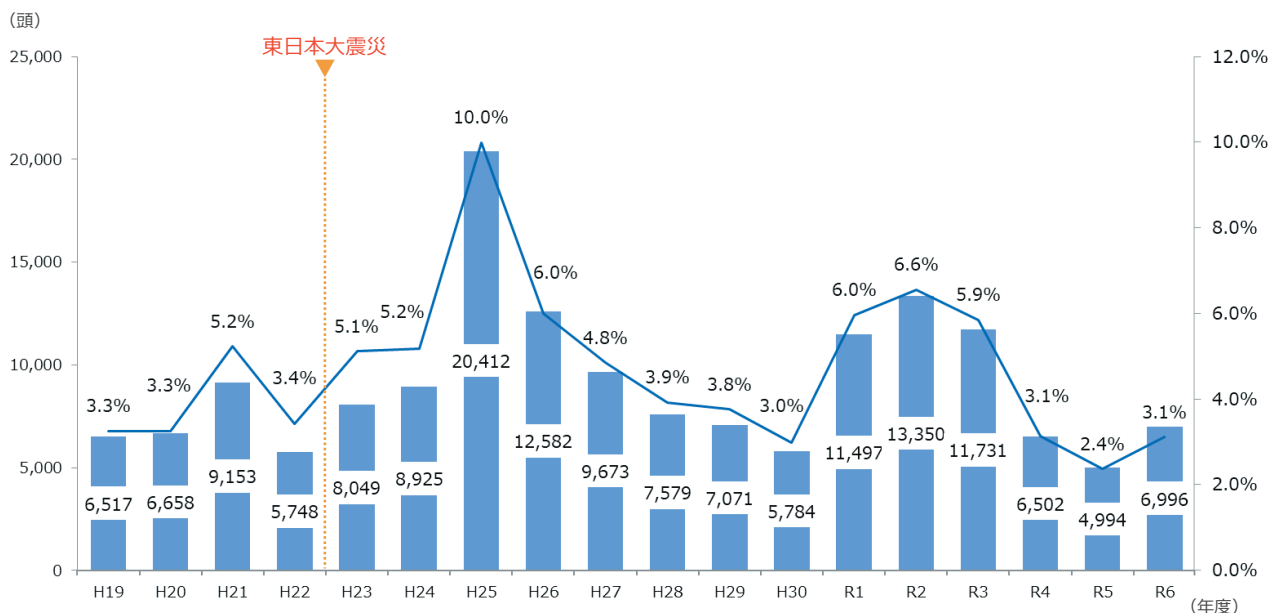
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産トラフグを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
 ※見かけた人の割合のnはR5:2,539、R6:2,278、R7:2,605。
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていたら購入経験なしとなる。
 ※購入経験率のnはR5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

※福島県産トラフグを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
 ※nはR5:35、R6:35、R7:42。

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の出荷頭数・シェア推移

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の出荷頭数とシェアは、震災後増加したものの、平成25年度をピークに縮小傾向にあった。令和元年度以降は一時増加したが、再び縮小し、令和6年度の出荷頭数、シェア共に震災前と同水準となっている。

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の出荷頭数・シェア推移



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」